

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.826
2019.2.3

発行

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
http://www.jcp-saitama.jp/

山崎 あきら 久保 みき
神田よしゆき もりや千津子
戸島 よし子 松村 としお
とりうみ敏行 大木 学

2月議会がはじまります

2月6日(水)から3月8日(金)までの31日間、2月議会が開催されます。代表質問(2月13日午後予定)には、神田よしゆき、とりうみ敏行の両市議が登場します。ぜひ傍聴にお越しください。

また、新年度に関わる予算委員会が2月18日(月)から3月1日(金)まで開催予定です。市民のみなさんの声を生かしながら、予算の組み替えを提案していきます。



神田よしゆき市議

1. 来年度予算について
2. 党市議団の予算組み替え提案について
3. 来年度計画される社会保障サービスの削減と市民負担増について
4. 子育て支援等について
5. 北区でのまちづくりについて



とりうみ敏行市議

1. 平和行政について(憲法と基地問題)
2. 消費税率引き上げ問題について
3. 公契約条例について
4. 環境・危機管理行政について
(東海第二原発問題など)

予算委員

- 久保みき市議
山崎あきら市議
松村としお市議

紹介議員になった請願

「意見書」は市議会としての意見を国に出すものです

- * 子どものインフルエンザワクチン接種にかかる費用に対する助成の実施を求める
- * 後期高齢者の医療費1割負担の継続を求める意見書提出
- * 生活保護基準引き下げ中止と「夏季加算」の実現を求める意見書提出
- * 消費税10%中止の意見書提出
- * 選択的夫婦別姓の導入を求める意見書提出
- * 沖縄県名護市辺野古埋め立ての土砂投入中止を求める意見書提出

提出した意見書(案)

- * 教職員の「働き方改革」について

市が2月議会に提案 国民健康保険税 連続値上げ

市は、2月議会に、国民健康保険税(国保税)を値上げする議案を提出します。これに先立ち市は、国保運営協議会に国保税の値上げ案を諮問し、答申を受けていました。

値上げ案は、①均等割を800円値上げ、②所得割を0.16%値上げするとなっています。例えば、65歳以上の2人暮らし、年金収入が320万円の世帯では、税額23万1000円から23万3700円と2700円の増税となります。影響は約15万7500世帯で、増税額は約3.3億円と見込んでいます。

値上げ案の第2は、課税限度額の引き上げです。現行89万円を93万円に4万円引き上げます。影響世帯は、約4500世帯、増税額は約1.6億円の見込み。あわせて、約4.9億円の増税となります。

市の2019年度予算では、国保支払基金の約30億円のうち23億円取り崩す予定で(2018年度比約10億円増)、一般会計からの法定外繰入額は約5億円です(2018年度比1.5億円減)。市は今後、一般会計からの

モデルケース別 国民健康保険税の増税額

(市の資料から)

モデルケース	収入	保険税(年額)			
		改正前	改正後	増額	
65歳から74歳	単身	220万円	99900円	101100円	1200円
		320万円	194100円	196300円	2200円
	2人世帯	320万円	231000円	233700円	2700円
		446万円	325200円	328900円	3700円
40代夫婦 子ども (未就学児) 2人	給与	443万円	468900円	475800円	6900円
		568万円	582400円	590900円	8500円

繰入を2026年度までにゼロにする方針で、そのために、国保税を毎年連続的に引き上げていくとしています。

戸島よし子市議は、「消費税増税と合わせて国保税、介護保険料の値上げで、さらにきびしい負担増が家計を襲う。党市議団は、2月議会で値上げを許さない立場で論戦したい」と話しています。

騒音シミュレーションを体験するもりや市議



羽田新ルート 国交省説明会 住民の不安解消されず

2020年を目途に計画されている「羽田新ルート」では、さいたま市内でも騒音、部品の落下、墜落などさまざまな事態が危惧されます。住民からの「なぜ住宅密集地の上を飛ぶのか。やめてほしい」との声が次々とあがることから「ていねいに説明する」として、南区では5回目の説明会が開催されました。私も騒音のシミュレーションを体験しまし

たが、高度1000メートルでの大型機なのに、ヘッドフォンからはほとんど音が聞こえません。実際の現場の状況が本当にこのようなのでしょうか。懸念は解消されません。住民の「教室型説明会を開催し、疑問や情報を共有したい」「テスト飛行をしてほしい」など

の声はさらに強くなっています。

当日の会場前では南区の住民団体のみなさんが、情報を提供するチラシの配布をおこなっていました。市は住民の不安を国交省に伝え、教室型説明会の開催などを要望するべきです。

1月27、28日の両日、南区役所（サウスピア）で国土交通省による「羽田新ルート」の展示型説明会が開かれました。参加したもりや千津子市議のレポートを紹介します。

緑区 国道122号線 振動対策が前進

東北自動車道・浦和料金所が2001年に建設されて以来、周辺住民は振動・騒音対策を市に求めてきました。市も対策をとってきましたが十分な効果が得られませんでした。2017年に松村としお市議も同席して市と改めて交渉し、同年に振動を測定。結果を踏まえて2018年10月に道路を改修し、11月にふたたび振動を測定しました。



住民から現場で聞き取りをおこなう松村市議（2017年7月）

今年1月に南部建設事務所道路維持課と住民との懇談がおこなわれ、松村市議も同席しました。懇談では、振動の平均値で浦和料金所建設前を下回ったと報告され、住民からも「昼間は気にならなくなった」との声が出さ

れました。同時に、振動の最大値は高い値が出ており、「深夜に振動を感じる」との声もありました。通行車の速度超過の影響も考えられます。市から警察に速度規制や取り締まりの強化を要望することになりました。担当者からは、道路舗装が劣化した際には必要に応じて対応する旨の発言がありました。

松村市議は「昨年7月に浦和東警察に速度規制強化を住民とで要望したが、引き続きとりくむ」と話しています。

学童保育 巡回相談の継続決まる さらなる拡充を

1月27日、下落合公民館で、さいたま市学童保育連絡協議会（以下市連協）主催の交流会が市の職員を交えておこなわれました。党市議団からは、久保みき市議が参加しました。

この日の交流会は市連協の障がい児委員会が主体となり、この間の活動報告やとりくみの成果、また気になる子どもに対する対応相談としておこなわれている市の巡回相談について話し合われました。

学童保育における巡回相談は、現場の強い要望があり2014年からはじまりました。巡回相談は特別支援教育の専門家の臨時職員1人でおこなわれています。その巡回相談員が今年度で退職することから、



2018年9月議会で巡回相談について質問する松村としお市議

学童保育指導員や保護者は今後どうなるのか不安な気持ちで過ごしていました。9月議会の一般質問で松村としお市議が巡回相談の継続を求めた際、市は「継続する」と答弁していましたが、交流会で来年度も専門性の高い職員が巡回相談にあたると報告されました。

保育園の巡回相談は以前から実施されており、外部職員含め17人体制です。学童保育の巡回相談は不十分であると言わざるを得ません。党市議団は保育園並みにこの制度が充実するよう求めていきます。

あなたの身近な議員です



市議(中央区) 市議(北区) 市議(見沼区) 市議(浦和区) 市議(桜区) 市議(南区) 市議(緑区) 市議(岩槻区)

山崎あきら 神田よしゆき 戸島よし子 とりうみ敏行 久保みき もりや千津子 松村としお 大木学